

山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620
Yamanashi Chuo Rotary Club
2013-2014

会 長	田中 雅承	副会長	原田 哲
幹 事	樋貝 浩久	副幹事	田中 雅貴
会 計	田中 直行	会 報	原田 哲

事務所
〒409-3812 山梨県中央市乙黒 158-2
(山梨ビジネスパーク (株)カルク内)
TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>
FAX 055-273-8010 E-mail rotary@yamachuo-rc.net

ロータリーを實踐し



みんなに豊かな人生を

2013～2014 RI 会長 ロンD.バートン
第2620地区ガバナー 志田 洪顯
例会日・毎週金曜日 12:30～13:30
例会場・(株)カルク (055-273-5344)

Weekly Report

2013年 11月 8日 第1606回例会

本日のプログラム

「会員卓話の時間を額入作業」

会長挨拶

「睡眠時無呼吸症候群」について

会長 田中 雅承

11月に入りました、今年も後2ヶ月、当クラブも事業的に何かと慌ただしい日々が続く事と成ります。

「第25回ふるさとを描く子ども絵画展」の準備作業がご存じの通り、なかなか手間の掛かる作業事業で計画的に行わないと成りません、会員の皆さんには大変忙しくなります時期ですが、何かと作業のお願いをしなくては成らないと思いますが、宜しくお願い致します。

先日、「ロータリーの友9月号」に目を通していましたら「卓話の泉」の掲載欄に「睡眠時無呼吸症候群」について約200万人もの人が、未だに適切な治療を受けていない潜在患者として居るとの投稿記事が載っていましたが、私もそのひとりです。

内科主治医の先生に紹介状を頂いて居るのですが、指定された病院へ治療を受けに行く時間を失い、行かなくてはと思いながら今日に至って居る始末です。

「睡眠時無呼吸症候群」について三重大学医

学部の付属病院呼吸器内科の高木健裕助教授(第2630地区津北RC)が申しますには、「睡眠時無呼吸症候群」が有りますと、眠っているつもりでも体にとっては十分な睡眠がとられておらず、起床時に頭痛が生じたり、日中の居眠りが多くなったりする様です。

いびきをかき人に多く見られ、典型的には肥満の方が多いのですが日本人は欧米人と比較して咽頭スペースに余裕が少なく、上気道が閉鎖しやすい為、普通の体型(非肥満)の方の患者さんにも多く見られるとの事です。

また、高血圧や心疾患、糖尿病などの合併症および動脈硬化も関連があると言われ、突然死のリスクが高くなり、「睡眠時無呼吸症候群」を放置すると単に本人の生活の質や将来の健康が脅かされるだけでなく、交通事故や労働災害などの増加につながり、社会活動全体にも悪影響を及ぼす事が懸念されます。診断方法には「睡眠時無呼吸症候群確定診断」と言う段階的な診断を受ける方法に成る様です。

まずは、簡易検査として「アプノーモニター」と言う酸素飽和度や無呼吸、低呼吸を計る機械を一晩自宅で装着して、そこで異常があった場合は更なる精密検査が必要となる様です、治療方法も幾つかある様ですので、私を含めお心当たりの方は「心配の種」に成り

ます、早めに検査を受けましょう。

幹事報告

幹事 樋貝 浩久

1. 国際ロータリー日本事務所より11月のロータリーレート1ドル100円との連絡がありましたので、お知らせ致します。
2. 本日は、例会後「理事会」を行います。原田年度の「役員及び所属表」に付いての承認と、次年度に行われます当クラブの「創立35周年記念式典」の件について行いますので宜しくお願い致します。
3. 「第25回ふるさとを描く子ども絵画展」の「額入れ作業」に付きましては11月8日(金)の例会後に行います全員のご協力を、宜しくお願い致します。
4. 今月、11月29日(金)の夜間例会は小池章治会員の「入会歓迎親睦例会」と成りますので、宜しくお願い致します。
また、会場は「新寿し」で開会は午後6時30分例会、歓迎会の順で行いますので全員の参加をお願い致します。
5. ロータリーの友事務所より「ロータリーの友11月号」が届いておりますので配布致しました。
6. 例会変更のお知らせ
有りません

前回の例会記録

第1605回 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	11名	0名	100%	4名	100%

届出欠席者 なし
 届出失念者 なし
 出席免除者 なし
 メイクアップ 田中 直行君 原田 哲君
 石原 満彦君 遠藤 一郎君
 ビジター 山寺 戦治様 田淵 幸弘様
 (甲府RC)
 備考 なし
 ニコニコ BOX

・宜しくお願いします

甲府RC 山寺 戦治 田淵 幸弘

・山寺戦治様、田淵幸弘様ようこそ山梨中央RCへ

田中 雅承 田中 雅貴

遠藤 一郎 竹野 満

・前回所用のため休みました。

遠藤 一郎

・休みが続きまして。本日は早退します。

原田 哲

会員卓話

「ニュージーランドでは」(6)

石原 満彦

だからNZの子供たちは、何回も何回も気軽にご褒美をもらえるから、気張ってなくて、恥ずかしがることなく楽しそうにのびのびと、自由に泳げるように力をつける。

そして伸びていくのかなって感じました。

普段はピンとした雰囲気の中で見守られ、気軽に発表でき、軽くしょっちゅう褒められ、叱られる時はしっかりはつきり短くがNZ流。

でも日本流ってその逆で。

普段は甘やかされたゆるい雰囲気の中に包まれ、発表は失敗が許されない雰囲気、軽くしょっちゅう注意され、褒められるときは仰々しく一瞬だけ、という違いを感じました。確かに成果は日本の方が早くから上がるだろうし、どちらの教育法がいいとはいえないんですが。

私だったらNZ流で育ちたかったなと思う今日この頃です。ですので、改めて私の子供たちにはNZ流でのびのびと育って行って欲しいと思うしだいでありませう。(終わり)

次のプログラム 11月15日(金)

高野直前ガバナー訪問